

OFFICIAL DOCUMENT

クロコ式™

ひとりの人間とふたつのAIによる意思決定の方法論

クロコ式は、ひとりの人間とふたつのAIが「会議」をして意思決定する方法論です。人間が最終判断を下し、AIの一方が「健全な批判者」として、都合の悪いことも含めて遠慮なく指摘します。

AIを"イエスマン"にしない。リスクも反対意見も建設的に出し合い、最後は人間が決める。

なぜ公開するのか

AIは便利です。でも使い方を間違えると、「持ち主に都合のいいことしか言わない道具」になります。それでは、大事な意思決定をかえって誤らせてしまう。

クロコ式は、私たちが日々の経営判断で実際に使っている「AIとの付き合い方」です。これを無償で公開することで、日本の誰かの意思決定が少しでも良くなればと願っています。

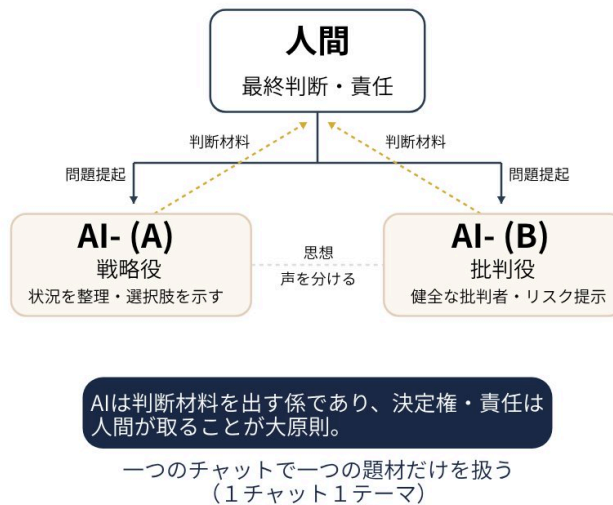
難しい理論はいりません。今日から、誰でも試せます。

クイックスタート（今日から試す）

1. 問いを立てる（あなた＝判断役）－ 決めたいこと・相談したいことを1つ用意する。
2. 戦略役のAIに相談する － 状況を整理し、選択肢と論点を出してもらう。
3. 批判役のAIに「健全な批判者」を頼む － 「イエスマンにならず、リスク・反対意見を必ず出して」と指示する。
4. あなたが最終判断する － AIは材料を出す係。決めて、責任を持つのはあなた。

AIは1つでも回せます。「いったん賛成側、次に批判側」と役を切り替えるだけでも効果があります。

三者会議の形



本書は「クロコ式」公開リポジトリの README.md (正本) を体裁化した公式版です。
内容の正本は GitHub 上の README.md であり、その同一性は下記ハッシュ値により検証できます。
README.md SHA-256:153ac673b1fbce3f7ceba5f57b58372db2ae4f79cfd3b79226385843246a18a4
「クロコ式」は株式会社インペリアル・メッセンジャーの商標です(出願中)™。方法論は CC BY 4.0。
Rev. 1.1 / 2026-05-31 発行